



陸屋根防水・修復 & 遮熱施工

ボロボロの屋根も再生 屋根温度を45℃以下に保つ

株式会社 ひよこサービス

陸屋根修復 & 遮熱施工とは？

陸屋根は経年劣化し、ひび割れから漏水に繋がり
その結果、鉄筋が錆びて膨張しコンクリートが割れて落ちてきてしまいます。



ボロボロの屋根でも再生可能

屋根温度を45℃（外気温同等）以下に保つ

15年耐久、メンテナンスコストカット

陸屋根修復 & 遮熱施工では、コンクリートのひび割れから発生する様々な不具合を修復して、特殊遮熱塗料で遮熱と防水を同時に行います。

特殊遮熱塗料は通常の遮熱塗料と比較すると、10倍～30倍の厚みのある塗料なので、保護コーティングとして機能し、さらに塗膜防水として機能します。

高い遮熱効果で夏場でも屋根温度は約45度以下に抑えることができます。



陸屋根再生 補修再生工程



まず、屋根の上のごみや雑草などを取り除き、屋根全体の土や泥汚れを洗浄します。



クラック部分をU字型に割れ目を入れます。(Uカット)



屋根が膨れてしまい、浮かび上がってきているところを剥ぎ取ります。



中の湿気を逃がすために脱気筒を設置し、躯体に残った湿気を除きます。



プライマー塗布後、クラック処理部分にコーキングを打って埋めていきます。



はぎとった部分、欠落部分の埋め戻しをします。



メッシュ張り
脱気筒の周りや、クラックにコーキングした部分にメッシュ張りをします。



プライマー、主材ベース3層を塗布し、トップコート2層塗布します。

陸屋根内部再生 補修工程



施工前の状態です。内部の屋根材が膨れて、剥がれかけており、雨漏りが発生していることが多いです。



はつり作業
浮いている部分をハンマーで叩きながら確認して、浮いている部分を確実に剥ぎ取り、落とします。



はつり作業後
膨れている部分を全て除去した状態です。



サビケレン作業。鉄筋のサビをとり、防錆プライマーの付着を良くします。



鉄筋のサビ部分に防錆プライマーを塗布します。



はつり作業した部分を下地調整剤で埋め戻します。



施工後
雨漏り箇所をしっかりと補修し、屋根上の塗膜防水との組み合わせで、もう雨漏りの心配はありません。

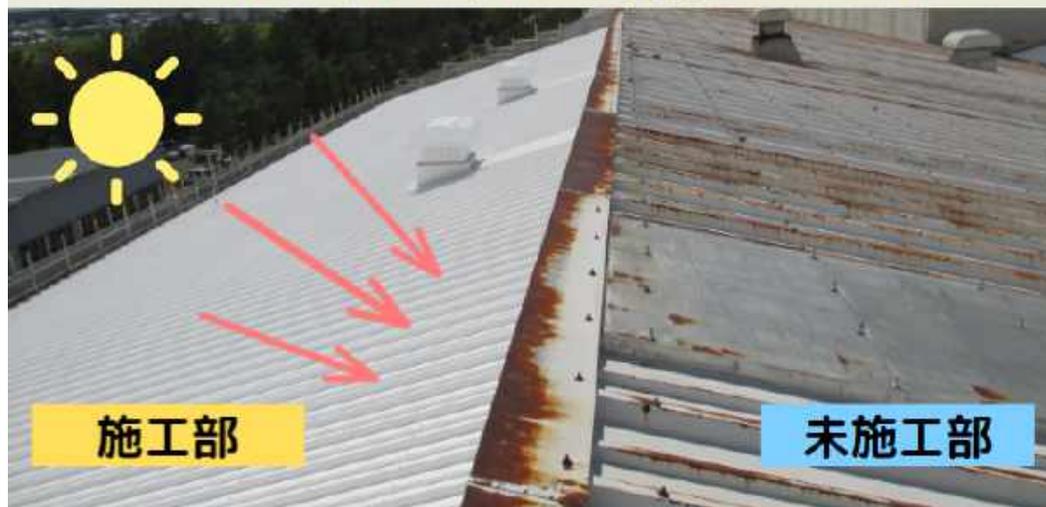
特長① 高い遮熱能力

屋根断熱補修.COMで扱う工法では、太陽光を89%反射する上に、塗料の熱容量も大きいいため高い断熱・遮熱効果があります。

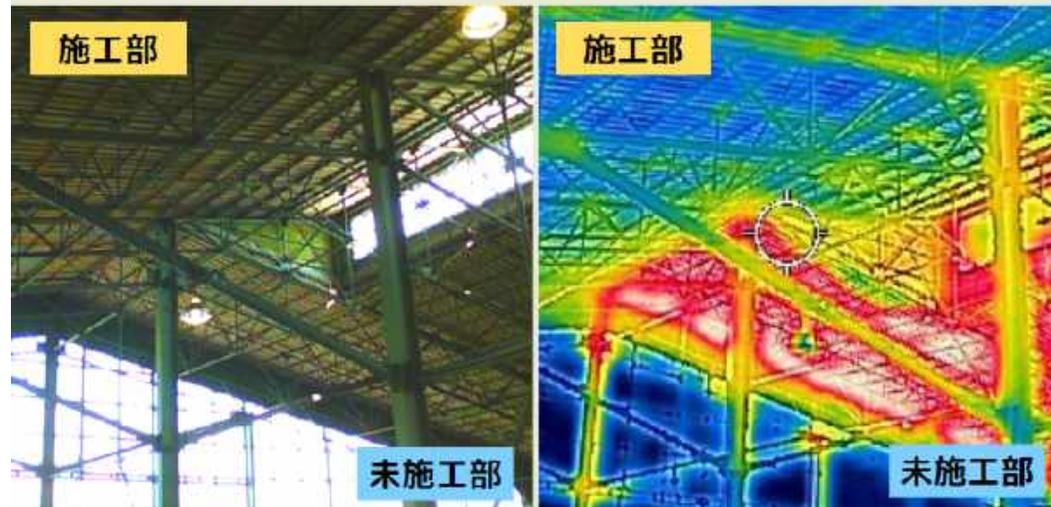
実際に熱量を7割以上カットできるので、それに伴い室温の低下・空調費の削減させることができます。実際に昨年対比で電気代を約300万円削減させた事例がございます。

実際に室内の環境に影響を与える屋根裏面温度の比較をすると、日の当たる施工部が、日の当たらない未施工部よりも6月時点で約20℃の温度差が出ています。

日が当たる側の半面を補修&遮熱施工



実際に室内に伝わる屋根裏面の温度を比較



遮熱効果についての動画はコチラから！



特長② 防水

屋根断熱補修.COMが扱う工法では、通常の遮熱塗料と比較すると10倍～30倍の厚みのある塗料を使用するので保護コーティングとして機能します。

コンクリート陸屋根用の高弾性ベースは折り曲げや伸縮に追随する柔らかい塗膜を形成します。

- この塗膜はJIS A 6021建築用塗膜防水材料の規格に適合しており、吹き付けによる継ぎ目の無いシームレスな塗膜防水が実現できます。

高弾性塗膜



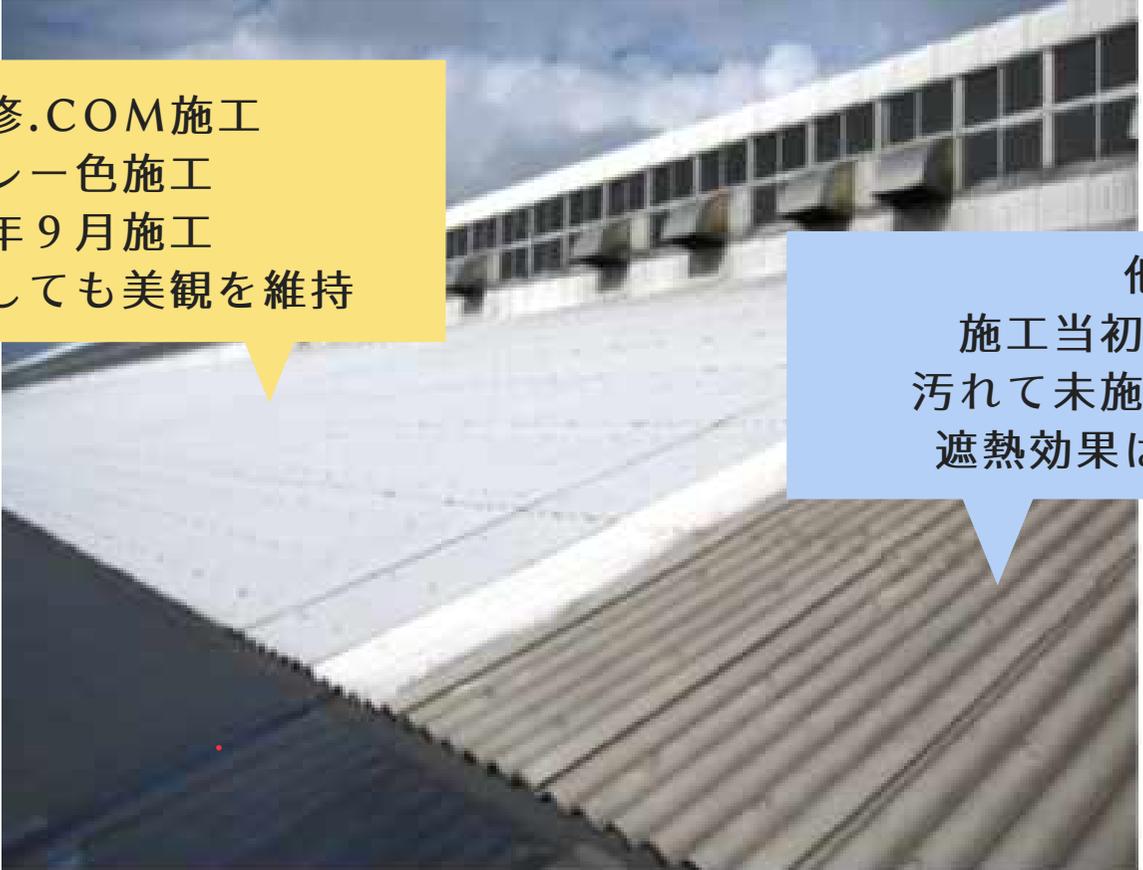
塗膜防水



工事名	
工種	塗装工事
測点	
主材ベース吹き付け 3回目状況	
施工者名	(有)伊東産業山城

特長③ 耐久性、耐汚染性

一般的な遮熱塗料の耐久年数は5～7年とされています。
それに対して、屋根断熱補修.COMでは10～15年の耐久年数です。
作業者のメンテナンスにかかる工数を大幅に削減できるほか、
再塗装時の費用は一般的な遮熱塗料と同等以下で収まります。
また、高い耐汚染性により、一般的な遮熱塗料に比べて効果も長持ちします。

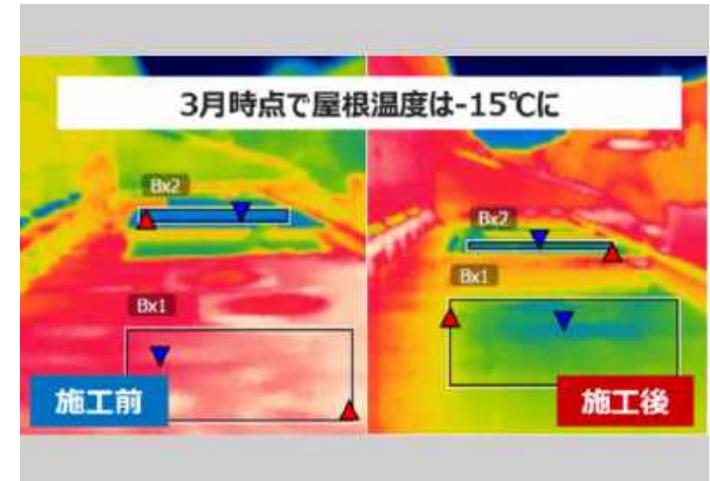


屋根断熱補修.COM施工
ライトグレー色施工
平成13年9月施工
施工後9年経過しても美観を維持

他社施工
施工当初は白色だったが
汚れて未施工部とほぼ同色に
遮熱効果はなくなっている

事例紹介 1

雨漏りにより内部まで傷んでいたコンクリート屋根を 防水補修 & 遮熱塗装した事例



工場は築50年程度経過し、雨漏り等があればその都度部分補修していましたが、全体的に劣化状況がひどくなってきていました。コンクリート屋根から雨漏りがあり、補修が必要だった上、雨水が建物内部にしみ込んで建物の内部側も傷んでいました。鉄筋が錆びて膨張し、コンクリートが爆裂することによってコンクリート破片が天井から落下しているような状態でした。ウレタン防水を検討しましたが、予算オーバーで手がつけられないでいました。

まず第一に防水する方法を探していましたが、ウレタン防水よりも安価で、防水だけでなく遮熱もできるということが決め手となりました。ガレージの屋根で他社遮熱塗料とも比較するためにテスト施工を実施したところ、3月の時点で他社遮熱塗料よりも屋根温度が低くなり、防水に加えて遮熱もできるということが実証されたので依頼しました。また、雨水によって傷んでいた屋根内部の補修も可能ということも決め手の一つとなりました。

過去の補修箇所も再度補修してもらい、その上から遮熱塗装をしてもらいました。それまであちこちで雨漏りが発生していましたが、施工後は台風で大雨だったときもしっかり防水できていることが確認できました。内部の補修もしてもらったので、天井からコンクリート破片が落ちてくるようなこともなくなりました。一番の目的は防水でしたが、遮熱塗装によって屋根温度も下がっています。屋根防水で予算をとったもののウレタン防水では高額となり、予算をオーバーするのでかなり困っていましたが、予算内に屋根裏も含めて補修してもらい、遮熱もできたので、非常に満足しています。

事例紹介 2

50年以上経過し傷んでいた陸屋根を補修・遮熱塗装した事例



工場では木製ボードを製造しているため、木製チップ等のごみが飛び散っており、それが屋根上に溜まっていた。さらに、ごみがコンクリートにくっついて掃除が面倒になっており、そのまま手を付けられず50年以上放置していました。そのため屋根が傷み始め、雨漏りしてしまっていました。

屋根自体が傷んでしまっているため、普通の塗装で直せるレベルではなく、他の業者にはなかなか手をつけられないと言われていました。関連会社経由で紹介いただいたのですが、はつり・左官・塗装工事をすべて対応可能で、塗装だけでなく屋根の補修もできるためお願いしました。

まずごみ掃除をしたのちに、半分ほど研った部分を剥がしました。屋根補修も行ったため、色々な箇所から雨漏りすることもなくなりました。また、屋根全体を綺麗に塗装したことでごみがくっついて溜まらず掃除がしやすくなりました。

今回は工場の屋根の一部をお願いしたので、今後も工場全体の屋根の塗装と補修をお願いしたいと思います。

お問い合わせ



076-220-6179



info@hiyokoservice.co.jp

会社概要

社名 株式会社ひよこサービス

所在地 〒921-8817
石川県野々市市横宮町13番30号

TEL/FAX 076-220-6179

E-MAIL info@hiyokoservice.co.jp

URL <https://www.hiyokoservice.co.jp>

多数事例掲載！屋根断熱補修専門サイト

屋根断熱補修.COM

[屋根断熱補修.com](http://www.hiyokoservice.co.jp)

[屋根断熱補修技術について](#)

[導入事例](#)

[技術情報](#)

[運営会社](#)

[お問い合わせ](#)

工場・倉庫の環境改善を屋根から支える
屋根断熱補修.com

新着情報 | 2020.10.07 築30年以上が経過した工場の屋根劣化で雨漏りしていた屋根を再生させた事例



<https://www.hiyokoservice.co.jp>